

旭川市の公共交通に関する主な取組について（新型コロナウイルス感染症対策関係）

【新型コロナウイルス感染症に対する公共交通機関への支援】 [予算額 180,882 千円]

<事業者支援（地域公共交通網形成計画事業1関連）> [140,150 千円]

○公共交通事業者等緊急支援金（第1次,第3次,第7次） [61,300 千円]

- ・市内の路線バス，貸切バス，一般タクシー，福祉限定タクシーの事業継続支援
支援額：法人 30 万円，車両 1 台当たり 1 万円（上限 200 万円）
個人タクシー，福祉限定タクシー1 事業者当たり 10 万円

○路線バス広域路線運行支援金（第6次） [57,280 千円]

- ・コロナの影響が特に多大な旭川市と周辺自治体を結ぶ広域バス路線を支援
対象路線：名寄線，層雲峡線など12 路線
対象事業者：5 者（電気軌道，道北バス，ふらのバス，沿岸バス，空知中央バス）

○環状通り循環線実証実験運行支援金（第6次） [21,570 千円]

- ・車内の密集の緩和による感染予防つながらるなどの取組として，実証実験運行を支援

<医療・保健，市民生活対策（地域公共交通網形成計画事業8関連）> [31,400 千円]

○公共交通乗務員慰労金（第6次） [31,400 千円]

- ・緊急事態宣言下において乗務した市内の路線バス，タクシー運転手に対し，一律 2 万円の慰労金を給付
対象：路線バス，法人・個人・福祉限定タクシー 計 1,570 人（想定）

<利用促進（地域公共交通網形成計画事業4，事業6，事業7関連）> [9,332 千円]

○路線バス観光利用促進事業（第3次） [1,300 千円]

- ・市内宿泊者を対象にバス一日乗車券を配布（1,000 枚）

○路線バスリアルタイム情報標準化システム整備事業（第3次） [3,982 千円]

- ・運用中の「バスキタ！」データをGoogle等のアプリでの閲覧可能にする事業（詳細は資料1-4参照）
年内にGoogleマップでの閲覧実施を予定。

○鉄道利用促進事業助成金（第3次） [1,000 千円]

- ・富良野線，宗谷線，石北線の鉄道利用助成の上限額を3千円から5千円に引上げ

○空港二次交通利用促進事業（第4次） [3,050 千円]

- ・空港利用キャンペーンに合わせ，市内と旭川空港を結ぶバス料金を無料化
実績：約 4,000 人利用（9/11～9/27）